

認知症 ～地域で見守る 社会で支える～

プログラム

講演1 「認知症とは何か」

滋賀県立成人病センター 老年内科 科長 長濱 康弘

講演2 「介護を終えて思うこと」

認知症の人と家族の会滋賀県支部 臼井 郁世 氏

講演3 「高齢者の運転免許と認知症」

滋賀県警察本部交通部運転免許課 谷口 昇 氏

申込不要
参加無料

認知症高齢者は2012年にそれまでの推計を大きく上回り、462万人を超えました。この数は65歳以上人口の10人に一人以上にあたります。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、本人にとってこちよ環境で暮らし続けることができるようにするには、多くの方の見守りと支えが欠かせません。

今回は、当センター老年内科医師による認知症についての基礎知識のお話の他、滋賀県警察本部交通部運転免許課より講師をお迎えし、高齢者と交通の問題、とくに運転免許と認知症に関してご講演いただきます。また認知症の人と家族の会から、介護経験者にもお話いただきます。

専門職や介護家族、県民の皆様と、認知症の人々に優しい社会を実現するにはどうすればよいのか、共に考えたいと思います。



日時

平成27年 **2月28日** **土**
10:00～12:30 (受付9:30)

場所

滋賀県立成人病センター
研究所講堂

[住所] 守山市守山5-4-30
[交通] JR守山駅からバス約10分

定員

150名(当日先着順)



※駐車場無料化の手続きをしますので、
駐車券を受付までご持参ください。

問合せ

滋賀県立成人病センター 総務課 TEL:077(582)5031(代)
メール:nb01105@pref.shiga.lg.jp